

## 『地方上級 教養試験 過去問 500 (2023 年度版)』訂正表

(初版第1刷)

## ● 42 ページ : (初版第2刷で修正予定)

問題および解説に不備がありました。以下のように訂正いたします。

## 【問題】 必需財と奢侈財

次の文は、ある財に与える所得の影響について述べたものである。空欄 A~D に当てはまる語句の組合せとして妥当なものはどれか。

必需財とは、消費者の所得が 1% 変化したときに、需要量の変化が 1% より ( A ) 財のことである。したがって、所得が 1% 増加した際、必需財への支出額の増加は 1% を ( B )。

一方、奢侈財とは、消費者の所得が 1% 変化したときに、需要量の変化が 1% より ( C ) 財のことである。したがって、所得が 1% 増加した際に奢侈財への支出額の増加は 1% を ( D )。

- |   | A   | B   | C   | D   |
|---|-----|-----|-----|-----|
| 1 | 大きい | 下回る | 大きい | 下回る |
| 2 | 大きい | 上回る | 小さい | 上回る |
| 3 | 小さい | 上回る | 小さい | 下回る |
| 4 | 小さい | 下回る | 大きい | 上回る |
| 5 | 小さい | 下回る | 大きい | 下回る |

【解説】 一般に、所得水準にかかわらず必要とされる財が必需品、高い所得水準の下で需要される財が贅沢品と考えられる。このことは、理論上、需要の所得弾力性を用いて分類される。

需要の所得弾力性は、需要量の変化率と所得水準の変化率の比として、 $e_M = \frac{\frac{\Delta D}{D}}{\frac{\Delta M}{M}}$  ( $e_M$ : 需要の所得弾力性,  $D$ : 需要量,  $M$ : 所得)

と表される。所得水準が増加した場合に需要量が増加する財、つまり  $e_M > 0$  となる財が上級財 (正常財) であるが、上級財のうち、 $e_M < 1$  となる財が必需財 (必需品) である。これは、例えば所得が 1% 増加した場合に、需要量は所得の伸び率より小さくしか上昇しない、つまり 1% より小さくしか増加しないことを表している (A には「小さい」が入る)。支出額は価格と需要量の積であるから、価格が一定であれば、所得が 1% 増加した場合の必需財への支出額の増加は 1% より小さくなる (B には「下回る」が入る)。

一方、上級財のうち、 $e_M > 1$  となる財が奢侈財 (贅沢品) である。これは、例えば所得が 1% 増加した場合に、需要量は所得の伸び率より大きく上昇する、つまり 1% より大きく増加することを表している (C には「大きい」が入る)。支出額は価格と需要量の積であるから、価格が一定であれば、所得が 1% 増加した場合の奢侈財への支出額の増加は 1% より大きくなる (B には「上回る」が入る)。

正答 4

以上